

# 部品の破損原因を特定するには... 事例2

～ 金属部品の破損解析② ～

## この技術のメリット

- 外観観察で素早く推察、組織観察で詳細確認
- 改善策に必要な情報の取得



## 手順

金属部品の破損解析について、以下の手順で対応しています。

- ① 設計、製造、使用状況について聞き取り、状況をしっかり把握
- ② 外観・破断面を目視や光学顕微鏡でマクロ観察
- ③ 必要に応じて電子顕微鏡で徹底的にミクロ観察

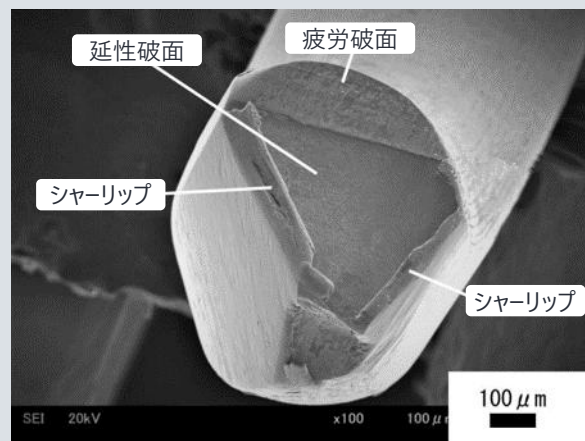


走査型電子顕微鏡

## 事例



引張荷重を繰返して受ける  
ステンレス鋼製ばねの破面



圧縮荷重を繰返して受ける  
ステンレス鋼製ばねの破面

## 企業様へのご提案

- 破損対策で信頼性アップを実現しませんか？

詳しい技術支援報告① 詳しい技術支援報告②



## お問合せ

材料技術部 素形材技術グループ